

## 【西南戦争を掘り・学ぶ事業学習指導案】

令和2年10月8日(木) 5校時

曾於市立笠木小学校5・6年生 8名

県立埋蔵文化財センター

隈元・湯場崎・尾川(縄文の森)

### 1 5校時指導案

#### (1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

#### (2) 実際

過程	子どもたちの活動	時間	センター職員指導及び支援内容	準備・留意点
導入	1 埋蔵文化財センターの仕事を紹介する。 2 本時の目標をつかむ。 地域の歴史や遺跡や文化財について理解しよう。	10	○ DVDを活用し、埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。	○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて
展開	3 鹿児島を代表する上野原遺跡について知る。 4 笠木遺跡で出土した土器や石器について説明する。	15	○ パワーポイントを使い、上野原遺跡の紹介をする。 ○ 曾於市から笠木遺跡出土遺物を貸してもらい、実物を観察する。	○ 縄文時代早期の土器(レプリカ)・石器等(埋文キット)ら ○ 笠木遺跡出土遺物
	5 西南戦争についての理解を深める。 ・西南戦争の概略を説明する。 ①土族の不平・不満の増大 ②不平土族と維新政府との対立 ③西南戦争勃発 ④敗走する西郷軍 ※ 敗走するときに曾於市内でも戦闘が行われていることや、岩川官軍墓地に官軍の死者が埋葬されていることを知る。 ⑤城山で西郷自刃、西南戦争が終わる。	15	○ 西南戦争時の政府軍、西郷軍の進路を紹介する。 ○ 高熊山激戦地跡出土の銃弾を提示する。	○ 大まかな西郷軍・政府軍の進路と主な戦闘記載の地図 ○ 年表 ○ 高熊山激戦地跡出土の銃弾(西郷軍・政府軍)
終末	6 本時のまとめをする。 自分たちの地域の歴史的な背景や先人達の暮らしについて考える。	5	○ 1万年以上前から、自分たちの地域には人々が暮らしていて、連綿と人々の生活が営まれてきたことを知る。 ○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。	

#### (3) 評価

- ・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。